

第 57 回 愛知県河川整備計画流域委員会 現地視察  
天白川（渥美）、池尻川、精進川 議事要旨

実施日：平成 28 年 11 月 29 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 17 時 30 分  
実施河川：天白川（渥美）、池尻川、精進川

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 質疑

【天白川（渥美）】

○委員

L1 津波時に堤防沈下による浸水の影響はないか。

●事務局

東日本大震災を踏まえた河川堤防の耐震点検では、水門より下流の堤防は沈下しても L1 津波よりも高いことから、水門と合わせて津波を防御すれば浸水は発生しない結果となっている。

○委員

河床部の多自然には配慮しているのか。

●事務局

河床を掘り下げる場合には、河床が平坦とならないように現況河床を参考にスライドダウンして掘削したり、水際に寄せ土を行うなどの工夫を出来る限り行っている。

【池尻川】

○委員

池尻川の BOD75%値が、平成 23～25 年の 3 か年で高い値となっているが、その理由は。

●事務局

上流にある畜産施設からの汚水が流入していたためと想定される。

○委員

畜産施設からの汚水だとヘドロとして溜まっていることも考えられ、対応が必要かと思うがどうか。

●事務局

現在、畜産施設から汚水の流入は無く、河川巡視結果や地域からもヘドロに関する報

告は特にない。

○委員

施設計画上の津波水位が T. P. 8. 6mとあり、池尻川水門の施設天端高よりも水位が高いがどのように対応するのか。

●事務局

漁港管理者が検討している赤羽根漁港全体の防護施設と一体となった施設を考えており、今後、実現可能な施設の高さや工法等について漁港管理者や田原市と調整する予定である。

○委員

津波対策としては具体的にどのような構造となるのか。

●事務局

構造の詳細については今後検討していく。

○委員

今オオバンが見られたが、水辺は、オオバンなどの野鳥の巣や野鳥のえさとなる生物が多く生息する貴重な場所である。河川改修に伴う自然環境保全対策もお願いしたい。また、貴重種について、全ての貴重種の種類を把握することは困難である。保全すべき貴重種の種類は、地域毎に概ねの傾向がある。それを把握することが必要。

4. 閉会